

# 認定NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

## ORMZ ニュース第129号 (R4.4.20)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



**はじめに** 4月下旬、新入生、新社会人の皆さんや異動、転勤のあった皆さん、新しい環境に慣れられたでしょうか？

新型コロナウイルス感染症やウクライナ侵攻のニュースなど、心の重くなるニュースが多いですが、季節は巡り、桜をはじめたくさんの花が咲き誇り、虫たちも元気に活動していますね。

コロナ感染者数が増加している宮崎でも、ツツジが咲き誇っています。

さて、今回の ORMZ ニュースでは、事務局の経過報告や現地ザンビアでの巡回診療の実施状況などをお伝えします。

皆様には引き続き、さらなるご支援をよろしくお願ひします。

(\*宮崎県三股町椎八重公園今月18日のツツジの写真です)

### 会の経過報告等

- ・4月4日、2年毎の法人役員の変更(再任)手続きを法務局にて行いました。これから2年間、引き続きよろしくお願ひします。
- ・4月4日県税事務所に、15日宮崎市税務課に各々法人税の減免申請の手続きを行いました。
- ・4月14日、会の新しいパンフレットを皆様にお届けしました。もうお手元に届いているでしょうか。どうぞお友達にもお見せしてください。
- ・今月から、国内での多くの事務について事務担当の方に処理をお願いしています。すでに今月ご寄附いただいた方(賛助会費等含む)への御礼のメールについて、日高ではなくその方から送られています。メールの差出人が変わっておりますがご心配は不要ですので、今後ともよろしくお願ひします。
- ・FACEBOOK(ザンビアの辺地医療を支援する会)に活動状況をアップしていますので、そちらもご覧ください。



### 現地活動報告(山本ひとみ)

#### 【巡回診療】

・道路状況が悪く、小川の水量が増えて渡れず(橋がない)たどり着くのが困難な2地域(サンダラ、リテタ)は、雨季の間巡回診療を休止していました。現地の人から、最近雨量が少なく、道路状況も良くなっていると連絡がありました。また、水を得て伸びた草を刈って、道路整備を始めてくれたとのこと。

・これら連絡を受け、4月から、巡回診療は4か所(ルアノ、サンダラ、リテタ、ニャンカンガ)で行う予定です。道路、コロナ状況など、情報収集を続け、安全に遂行できるよう努めていきます。

(\*荷物を詰め込んで出発します)



**3月23日 ニャンカンガ** 診療数 115名 内マラリア陽性数 35名

- ・深刻なケース なし
- ・ムワプラ・ヘルスポストスタッフが同行し、コレラ経口ワクチン、ポリオを含むこどもの予防接種と、コロナワクチン接種を行った。コロナワクチン接種は小学校でも行われ、それなりの人数の人が接種を受けた。
- ・生後9ヶ月でマラリア陽性の子がいた。
- ・CHW の記録に、15歳女性がマラリアと判明後死亡したとあった。CHW の話によると、女性はマラリア陽性だったため薬を処方されていたとのこと。女性はマラリア以外にも病気があり、伝統医療師(Traditional Healer)のところにも行っており、死因はマラリアではないとのこと。

**4月6日 ルアノ** 診療数 101名 内マラリア陽性数 4名

- ・深刻なケース 8ヶ月男子、栄養失調、貧血などの症状あり、チペンビ・ヘルスクリニックへ、チペンビから救急車でリテタ病院へ転送となった。
- ・チペンビ・ヘルスクリニックからスタッフ3名が同行、コロナワクチン接種、ポリオを含む子供の予防接種を実施

**4月13日 サンダラ** 診療数 69名 内マラリア陽性数 10名

- ・3ヶ月ぶりの巡回診療の実施状況であり、「本当に今日くるのか」と疑っている住民もいたようだが、道路状況問題なく、草丈が高いところは地元の人が草刈りを行っていて、無事到着できた
- ・深刻なケース 8歳男児、チョングエ・ヘルスクリニックへ転送
- ・チペンビ・ヘルスクリニックからスタッフ3名が同行、コロナワクチン接種、コレラ経口ワクチン投与を地実施。18名の子供が予防接種を受けた。

### 【薬品運搬】

- ・ニャンカンガでは、今年に入りマラリア陽性数が増えており、地区のチェアマンからマラリア検査キット、マラリア薬不足の連絡が入ったため、4月8日薬を運搬した。



### ザンビアの新型コロナウイルス感染症等の状況

- ・ここ数日は、50人から300人くらいの感染者数となっています。



